

学校教育だより

Narashino Municipal Board of Education

習志野市ご当地キャラ「ナラシドック」

令和5年1月6日 発行
No. 131

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)

学校教育だよりは
習志野市ホームページ
から御覧いただけます

児童・保護者・地域と共に歩み続けて60年！



習志野市立大久保東小学校

本校は、昭和38年に大久保小学校から分離して、その歴史をスタートさせ、今年で創立60周年を迎えました。写真展示会の開催、記念キャラクターの制作、おめでとう給食の実施、12月3日の式典・祝う会の開催等、実行委員や地域・保護者の皆様、子どもたち、教職員等みなさんの力を結集して60周年記念事業を盛り上げ、祝福できたことに大きな喜びを感じております。今後も大久保東小学校の伝統を継承するとともに、さらなる発展が遂げられるよう、精進してまいります。
(大久保東小学校 校長 本間 千佳子)

令和4年が終わりと、新しい年がスタートしました。依然としてコロナ禍ではありますが、今後も徹底した感染症対策を講じた上で、本市の教育活動を行ってまいります。本年もよろしくお願いいたします。

さて、第131号の表紙は昨年12月3日(土)に開催された、大久保東小学校創立60周年記念式典の様子です。教職員、児童、保護者、地域の方等、大久保東小学校に関わるすべての方の思いや願いが学校の伝統となり、脈々と受け継がれてきていることを実感できる、温かな雰囲気の様式となりました。

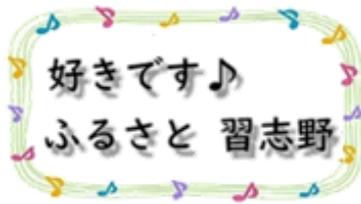
次ページ以降は公開研究会の様子、各コンクールの結果等について紹介いたします。

テーマ「学びの充実」

《目次》

60周年記念式典(大久保東小学校)	…1
教育長巻頭言	…2
夏休みに児童一人ひとりが取り組んだONE CHALLENGE!	…3
公開研究会特集①(津田沼小、大久保小、谷津南小)	…4
公開研究会特集②(第六中) / 各校の取組	…5
書籍の寄贈 / 音楽コンクール結果	…6
フレンドあいあいの取組	…6
特色ある教育活動紹介(第五中学校)	…7
習志野高校ニュース / 消毒液の寄贈	…8

「 新たな発想で飛躍の年に 」



習志野市教育委員会
教育長 小熊 隆



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また日頃より本市の教育行政に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、2年間中止となっていた行事も、感染防止対策を講じた上で、形を変えつつも再開することができました。

学校教育におきましては、習志野高校ではインターハイにおいて、ボクシング、柔道、体操競技の個人種目で3名のインターハイチャンピオンが誕生し、男子バレーボール部は16年連続、春高バレー出場を果たしました。中学校では第二中学校ソフトボール部が県総体優勝、関東大会出場、第七中学校男子バレーボール部が県新人戦優勝に輝きました。

音楽のコンクールでは、習志野高校の全国コンクール金賞の二冠をはじめ、多くの小・中学校が県で上位の成績を納め、ブロック、全国コンクールで様々な賞をいただき「音楽のまち習志野」の名をさらに響き渡らせた年でもありました。

また、児童生徒へ一人一台のタブレット端末を整備して2年目となりました。昨年5月より「匿名メール相談 Web アプリ」を導入し、児童生徒が悩みを相談するためのツールとしても活用しております。学習においては、これまで培ってきた教科書、ノートを活用した指導法にタブレットを加え、不易と流行を大切にしながら、よりよい教育活動の展開をお願いします。

生涯学習におきましては、感染防止対策を講じた上で、生涯学習施設を多くの市民の皆様にご利用をいただきました。市民文化祭や地域行事におきましても、皆様のご活躍されている姿を拝見し、発表の場の大切さを再認識いたしました。一方で3月末をもって、習志野文化ホールが建て替えのため一時閉館となります。関係団体の皆様の発表や、様々なイベントにおいては代替の対応が必要となりますが、今後も変わることなく「音楽のまち習志野」をはじめとする生涯学習の推進と、地域の活性化に最善を尽くしてまいります。

今年の干支である「卯（うさぎ）年」は、「飛躍」、「向上」を象徴する年とされています。続くコロナ禍により、様々な行事が実施方法の変更を余儀なくされておりますが、新たな方法を見出すきっかけになっているとも言えます。これまでの方法をさらに昇華させ、皆様が大きく飛躍、向上できる年となりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

あしたの「ハモニ」が響くまち 習志野市

夏休みに一人ひとりが取り組んだ ONE CHALLENGE! (敬称略)

千葉県課題図書小・中学校児童生徒読書感想文コンクール

最優秀賞 (千葉市長賞) 田頭 真依 (第四中3年)
 優秀賞 (県中学校会長賞) 濱田 尚花 (第四中3年)
 優秀賞 (千葉日報社長賞) 豊島 葵 (第六中3年)

【最優秀学校賞】
【学校賞】

第四中学校
鷺沼小学校
東習志野小学校
藤崎小学校
屋敷小学校
第六中学校



青少年読書感想文全国コンクール (千葉県コンクール)

【小学校高学年課題】教育長賞 友時 昊志 (谷津南小6年)
 【中学校課題】優良賞 杉田 知優 (第三中3年)
 【中学校自由】優良賞 長尾 碧唯 (第五中3年)

友時さんの作品は全国の審査へ進んでいます!

税についての作文コンクール

国税庁長官賞 長尾 碧唯 (第五中3年)
 全国納税貯蓄組合連合会会長賞 大竹 柊里 (第六中3年)
 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞 笠原 仁子 (第六中3年)
 千葉西税務署長賞 水上 勇人 (第一中3年)
 千葉西税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞 袴田 心花 (第二中3年)
 千葉県千葉西県税事務所長賞 小林 乃依 (第一中3年)
 習志野市長賞 真船 杏 (第五中3年)

千葉県児童生徒・教職員 科学工夫作品展

優秀賞 北川 葵一 (第二中3年)
 「紙で作る振り子タイマー」
 優良賞 下村 亜玖里 (大久保東小6年)
 「BUGsBOT BEETLON」

ガスフェスタ児童絵画展

市長賞



神原 拓実 (大久保東小3年)

市議会議員賞



宮崎 ことね (谷津南小3年)

教育長賞



比嘉 葵 (鷺沼小1年)

企業管理者賞



熊谷 柑那 (鷺沼小3年)

防火図画作品展

最優秀賞



白石 愛 (谷津小3年)

特別賞



村川 輝向 (袖ヶ浦東小3年)

市議会議員賞



吉垣 陽翔 (袖ヶ浦東小4年)

千葉県小学生プログラミングコンテスト CHIBA CORDER CUP -2022-

Cygames 賞

三橋 康丞 (袖ヶ浦西小4年)

JA 共済千葉県小・中学生 「交通安全ポスター」コンクール

特別賞



渡部 葵莉 (鷺沼小4年)

市議会議員賞



井上 来見 (藤崎小4年)

教育長賞



毛原 奏 (屋敷小5年)

JAバンク千葉 運営協議会議員賞
高橋 優 (大久保東小3年)



令和4年度 公開研究会 -各学校の実践-



令和4年度は、小学校9校、中学校1校の公開研究会が行われました。新型コロナウイルス感染症の状況を見据え、参集型、オンライン・オンデマンドなど、様々な方法で公開研究会を開催することができました。市立各校が授業実践、他校との合同研修会、校内研究といった様々な取り組みをする中で研究を積み重ね、工夫を凝らしながら研究の成果を発信することができました。

公開研究会を開催した各校においては、参観者からの様々な意見や感想をもとに、振り返りや次の実践に生かす良い機会となりました。また参観者にとっても、他校の提案から様々な指導法、手立てを学び、自校の実践に生かす良い機会となりました。(文責：指導課 狩倉)

津田沼小学校

仲間と共に高め合う体育学習

【研究主題】

仲間と共に高め合う体育学習

今年度より、思考をはたらかせた体育学習を器械運動中心に進めています。児童が課題に合った運動の場を選んだり、技能ポイントを元にアドバイスをしたりできるようになるために、教師と児童、児童同士、児童と資料の関わりを意識した手立てを吟味し、単元を構成しました。

公開研究会では、児童一人ひとりがめざす姿に向かって学習に取り組む姿、仲間と励まし合ったり補助をし合ったりする姿が見られました。思考をはたかせることが目的ではなく、思考をはたかせることで技能が向上し、児童が自分の取り組みに自信をもち、何よりも運動の楽しさを味わえるよう取り組んでいます。



研究主任 高田 聡

大久保小学校

思考力を育む国語学習を目指して

【研究主題】

主体的・対話的で深い学びを通して
思考力を育む国語学習



本校の研究主題は「主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習」です。思考力の高まりは、児童の書いたものを①初読時と終読時で比べる長期的変容と、②一単位時間内の表現を比べる短期的変容の2点で見取ります。低学年では、好きな場面を選び、人物の心情を図示した後に、その理由を書く活動を繰り返し、字数の増加や、より根拠を明確にして理由が書けているかを比べました。中学年以上では、読みの段階が変わるごとに同一テーマで自分の考えを書くことで、一文一語の解釈が変わったり深まったりすることに気付けるようにしました。また、字数や段落、内容等の条件を提示することで論理的に書く力を伸ばす「条件作文」を週に一度、全校で継続的に行っています。今後も読み書きを連動させた単元作りを追究していきます。

研究主任 小松代 絵里

谷津南小学校

実りある公開研究会を終えて

【研究主題】

どの子も輝く生活科・社会科学習の追究

今年度、研究主題を「どの子も輝く生活科・社会科学習の追究」、副題を「対話を通して、学びを深める」として研究を行ってきました。特に、副題を変更して、3年目の節目でしたので、感染症対策を講じ、公開研究会が実施できたことを嬉しく思います。

本校では、研究主題に迫るために「対話」を大事にしています。対話をする必要性を児童が感じ、主体的に問題解決する姿を目指しています。本研究では、「問い」と「振り返り」の2つの重点を設定し、児童にとって「魅力ある問い」とは何か、「効果的な振り返り」とは何かを考え、研究してきました。公開研究会では、協議会でたくさんの先生方と共通の問題に対して対話をし、学びを深めることができました。児童も同様に対話の魅力を実感できるよう、今後も励んでまいります。



研究主任 丸吉 利明

第六中学校

公開研究会を終えて

【研究主題】

活力ある生徒を育てる授業の創造



本校は、研究主題に『活力ある生徒を育てる授業の創造～自己肯定感を高める授業づくり～』を掲げ研究を進めています。11月22日に、これまでの取り組みを発表する場として公開研究会を実施しました。令和3年度より千葉大学教育学部グランドフェロー真田清貴先生を全体講師に迎え、自己肯定感の捉え方、涵養の実践等きめ細かな御指導をいただきました。特に全教科共通で6つの『研究の視点』を示し、手立てを明確にして指導方法の工夫改善に取り組んできました。研究をとおして、『半知半解』から理解へつなげて「わかる授業」を目指す授業方法、持続可能な研究、提案授業の配信方法、PDCAサイクルを生かした授業改善の必要性等課題が明確となりました。

た。今後も研究を継続し、教職員の指導力向上に努めるとともに、生徒の自己肯定感や学力の向上を目指していきます。

研究主任 長岡 純子

児童のためのクラシックコンサート



千葉県公立学校教職員互助会 スクールコンサート派遣事業として、大久保東小学校にて「千葉交響楽団」によるクラシックコンサートが開催されました。オーケストラの生の演奏を初めて聴く児童が多い中、「カルメン」組曲よりトレアドール、アイネ・クライネ・ナハトムジークより第一楽章など、どこかで耳にしたことがある曲目のプログラムとなっていました。指揮者体験では、代表児童だけでなく、会場全体で自然と指揮の練習をする姿が見られ、五感を使って音楽に親しむ姿が見られました。「生の迫力、響きを聴くことができ、貴重な体験となった。いろいろな楽器が一つにまとまった音楽となっていた。これからも音楽に親しんでいきたい。」(抜粋)という代表児童による御礼の言葉からも体験の素晴らしさが伝わってきました。

(文責：指導課 田中)

競技への理解促進のために ～フェンシング体験～

日本フェンシング協会の方に御指導いただきました！

12月2日(金)、日本フェンシング協会の方が第二中学校を訪問し、フェンシング体験を行いました。本事業は、フェンシング競技の特性の理解促進、競技人口の増加を目的としており、東京2020オリンピックフェンシング(男子エペ団体)金メダリストの宇山 賢さんを講師としてお招きしました。生徒にとっては、テレビで見たことはあるものの普段経験することができない競技を体験する貴重な機会となりました。

(文責：教育総務課 芦川)

まずはお手本！



フォームを確認し、



いざ実践！！



市内小学校等に本を寄附していただきました



令和4年10月24日(月)習志野市在住の織戸眞男様より、市内各小学校及び適応指導教室「フレンドあいあい」へ書籍の寄附があり、感謝状贈呈式が行われました。読書活動の充実には、「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」等の言語に関する能力を育むためには必要不可欠であり、織戸様も「子どもは未来の宝。本の大切さを知り、いろいろな世界に触れてほしい」と本を寄贈した願いについて語りました。
(文責:教育総務課 芦川)



NEWS 祝「音楽のまち 習志野」の名を全国へ



全日本バンドフェスティバル・全日本マーチングコンテスト

- 金賞 習志野高校 第四中学校 大久保小学校
- 銀賞 第二中学校

日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテスト

- 金賞(郡山市長賞) 谷津小学校
- 金賞(福島県教育長賞) 第一中学校
- 銀賞 習志野高校

日本管楽合奏コンテスト

- 最優秀賞 東習志野小学校 実花小学校 優秀賞 第五中学校

全日本吹奏楽コンクール

- 金賞 習志野高校 銀賞 第四中学校

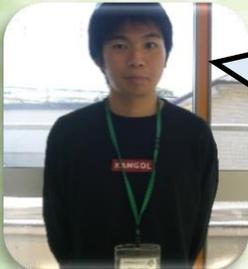
全国各地で音楽コンクール全国大会が行われました。各大会において、市内の小中高等学校が素晴らしい成績を収めました。この結果は、児童生徒の皆さんの日々の努力と御家庭の支え、先生方の御指導の賜物であると実感しております。「音楽のまち 習志野」の名をさらに広める大活躍となりました。児童生徒の皆さん、学校関係者の皆様、本当におめでとうございます!!
(文責:教育総務課 芦川)



フレンドあいあいの取り組み～千葉大学学生ボランティアのかかわり～



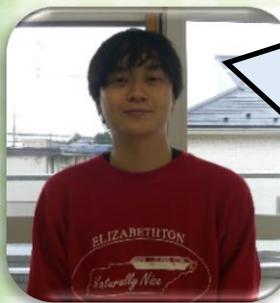
令和4年度から千葉大学学生ボランティアが「フレンドあいあい」に来てくれています。児童生徒にとっては年が近いお兄さん、お姉さんのような存在です。学生ボランティアの先生は一人一人の児童生徒にいつも笑顔で優しく寄り添ってくれています。児童生徒にとって自己肯定感を高め、社会とつながる大切な時間となっています。
(文責:習志野市総合教育センター 大津真紀)



子どもと一緒に楽しい教室に来るように活動しています。多くのことを学んで、教師になった時に生かせるように頑張っています。
真家遼介さん



このフレンドあいあいでの活動を通し、私らしい子どもとの関わり方を見つけられるよう、楽しく笑顔で取り組んでいます。
伊藤真生さん



フレンドあいあいでは、学習、遊び、スポーツを通して子ども達ととても楽しく関わらせて頂いています。子ども達に楽しく居心地がいいと感じてもらうことを第一に心がけています。将来は特別支援学校の先生になりたいという思いがあります。
阿部壺成さん



このフレンドあいあいでは、一人ひとりどう向き合うかについて考えながら子どもと接するように心がけています。将来教員になった際、この経験が生かせるように頑張りたいです。
田中孝典さん

習志野市立第五中学校

生徒数：703人 学級数 25（知的特別支援学級 2

自閉症・情緒特別支援学級 4）教職員数：59人

学校教育目標：自ら学び 心豊かでたくましい生徒の育成



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 15

学校の特徴 校章の由来

昭和53年4月1日に開校した本校は、令和4年度で創立44年となりました。校章は習志野市の市章と五中の文字を稲穂が取り囲んでいます。その昔、五中の地域は稲作が盛んな土地であったこと、黄金の実り多い学校生活となることを願って考案されました。また、校歌の歌詞は著名な詩人、吉野弘の作です。本校のシンボルツリー 蘇鉄は校訓「友愛・自主・創造」の碑の隣にそびえています。



コロナ禍での学び 職場体験学習

コロナ以前は職場に出向き、様々な体験をしてきた学習ですが、コロナ禍の現在はゲストティーチャーとして職場の方々にレクチャーいただいたり、リモートでお話いただいたりして、仕事や社会について学び、将来につなげています。

生徒発案給食 家庭科とコラボ食育

家庭科で学習した知識を用いて、食品群や不足しがちな栄養素・季節感・衛生面・調理などを考え、給食のメニューを立案します。オリジナルメニューは給食で実現！バランスの良い食事、給食を残さず食べる習慣につながります。12月14日（水）は2年生が立てた「自然豊かな北欧メニュー」でした。

今年度 PTA 家庭教育学級で給食を取り上げました。その際に作成した動画を現在配信しています。こちらの QR で御覧いただけます。



知的特別支援学級9組 HP 作成

現在、9組ではプログラミング学習と情報発信にまつわるリテラシー、情報モラルなどを総合的に学ぶ学習活動として、ホームページの作成を行っています。五中紹介や9組日記などを通して、情報社会への参画を目指しています。オリジナルマスコットキャラクターや季節の風物をイラスト作成機能を用いて作成しています。ゆくゆくは一般の方々にも公開できればと考えています。

吹奏楽部 活躍しています

第五中学校吹奏楽部は、本年度も日本管楽合奏コンテストに出場したほか、TBS こども音楽コンクールに東日本代表として出場します。

令和5年1月21日（土）13:00から習志野文化ホールで津田沼北部連合町会主催の「ふれあい音楽祭」で演奏させていただきます。バレエ音楽『くるみ割り人形』他を演奏いたします。



雑草の如く遅しく

～習志野高校ニュース～

先生役にチャレンジ!!

児童の前で自己紹介!

12月2日(金)に実籾小学校の6年生の皆さんと先生方にご協力をいただき、第1回の「先生役にチャレンジ!!」を行いました。この取り組みは、習高生が普段お世話になっている地域への恩返しをするために、近隣の小・中学校で授業のお手伝い(チームティーチングのT2)をするというものです。

参加したメンバーは、本年度の4月にスタートした学校独自の教科「自己発展学習」の「数学セミナー」で、発展的な数学を学ぶ高校3年生6名です。

小学生の質問に分かりやすく答えるため、事前にしっかり予習してから、先生役にチャレンジしました。

わからないところをアドバイス

実際に、疑問を持っている児童に分かるように教えることの難しさを経験することで、分かってもらえたときのうれしさと、クラスの全員に対応できる先生方のすごさを実感する事ができたようです。

この後は、1月13日(金)に実花小学校で、1月20日(金)に東習志野小学校で「先生役にチャレンジ!!」が予定されています。

このような体験を通して、教育という仕事のやりがいや意義に気づいて、先生という職業を目指す習高生が1人また1人と増えていくことを期待しています。

小学生に伝える言葉や数学の範囲でわかりやすく教えるということが、意外に難しいなど感じ、先生ってすごいなと改めて思いました。

また、目線を合わせてコミュニケーションを取るものの大切さが身にしみました。始めは私自身から声をかけていったのですが、途中から「先生、ここが分かりません。」と声をかけてくれたのがすごく嬉しかったです。

先生役、楽しかったです。

3年F組 中島彩乃さん

今回初めてやってみて、一人ひとり理解度が違い、教え方が難しいと思いました。

それでも、教えていくとできるようになって、とても教え甲斐がありました。教えることの難しさ、解いてくれたときの喜びを学べた良い機会でした。自分もこんな時期があったらいいと思います。次回は授業の内容だけでなく、他の経験も話していけたらいいと思います。

小学生からとても元気をもらえました。

3年F組 加藤広樹さん

(文責:教頭 山下 欣宏)

消毒液を寄贈していただきました!



千葉ロッテマリーンズの寄附事業「ちばキッズスマイル・プロジェクト」を通じ、株式会社習志野トラックセンター様及び株式会社日立産機システム様より消毒用アルコールディスペンサー2,320本を寄贈していただきました。10月25日(火)に市内を代表し、秋津小学校で寄贈式がおこなわれました。続くコロナ禍において、アルコールディスペンサーは、健康に過ごす為に、必要不可欠なものであり、各学校において多く使用するものです。今回、御寄贈いただいたことへの感謝と共に、今後、さらに充実した学校生活を目指し、最善を尽くして参ります。(文責:教育総務課 芦川)

